

# 事業報告書

## 1. 事業の状況

### (1) 概況

当財団は、「医薬品の開発をはじめとする生命科学に関する諸分野の研究を奨励し、もって国民の健康と福祉の向上に寄与する」ことを目的として昭和60年2月19日に厚生大臣の認可を受けて設立し、平成22年1月19日に内閣総理大臣の認定を受けて同2月1日公益財団法人に移行した。

平成23年度は、基本財産として保有する大正製薬ホールディングス株式会社株式に対する配当金収入を活用し、わが国の企業をベースとする財団としては最大規模の事業を行った。

(イ) 研究助成、海外留学助成を引続き高水準で実施した。

(ロ) 研究功績褒賞を行った。

(ハ) 当財団主催の第10回国際シンポジウムを開催した。

(ニ) 第8回特定助研究助成を開始した。

(ホ) 定例刊行物である「研究報告集Vol. 25 2011」、「一年のあゆみ平成22年度版」および平成23年度上原賞受賞者講演録を作成した。

### (2) 各種助成金

平成23年3月11日開催の理事会・評議員会で決定した事業計画に基づいて、同年5月26日開催の理事会で「交付対象者選出に必要な事項」を決定し、6月10日より募集を行った。

応募申請は、9月8日に締切り、各選考委員が書面審査の上、11月1日及び11月25日に選考委員会を開催して選考を行った。

この選考結果を12月16日開催の理事会・評議員会で検討して、交付対象者ならびに交付金額を決定し、直ちに応募者に通知した。

採択者に対する助成金の支払いを、平成24年1月より開始した。

#### (イ) 第8回特定研究助成金

特定研究テーマ検討委員会の答申を受け、平成23年度事業計画に「革新的医療を創生する医学研究」を助成対象とすることが盛り込まれた。

公募の結果106件の応募があり、平成23年度を初年度として次の通り実施することとし、初年度の助成を行った。

(1件当たりの助成金)

	平成23年度	24年度	25年度	助成金合計
特定研究助成A 助成件数5件	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000	千円 15,000
同 B 助成件数15件	〃 3,000	〃 3,000	〃 3,000	〃 9,000

(ロ) 研究助成金 (1件5,000千円)

70件の助成を決定した。

(ハ) 研究推進特別奨励金 (1件4,000千円)

10件の助成を決定した。

(ニ) 研究奨励金 (若手研究者対象1件2,000千円)

89件の助成を決定した。

(ホ) 海外留学助成金

本年度も、リサーチフェローシップとポストドクトラルフェローシップの2種目とし100件採択した。その内7件を2年間助成とした。

(ヘ) 来日研究生助成金

4件の助成を決定した。

(ト) シンポジウム開催助成金 (1件1,000千円以内)

わが国で開催される国際研究集会に26件の助成を決定した。

(3) 研究業績褒賞 (上原賞)

生命科学に関する研究で、顕著な功績をあげ、引続き活躍中の研究者を主要学会、当財団役員・評議員・諮問委員および既上原賞受賞者に推薦をお願いし、16名の候補者のなかから2回の選考委員会での厳正、慎重な討議の結果、京都大学大学院理学研究科教授の森和俊氏と東北大学大学院医学系研究科長・教授の山本雅之氏の2名を受賞者に決定した。

(4) 第10回国際シンポジウムの開催

第7回特定研究助成の研究成果の発表を兼ね、次の通り開催した。

・テーマ (名称)

和文名：上原記念生命科学財団シンポジウム-2011

「生体制御分子科学：化学と生物学の融合」

英文名：The Uehara Memorial Foundation Synposium-2011

Chembiomolecular Science : at the Frontier of Chemistry and Biology

・ 会議日程

平成23年6月6日～8日

・ 会場

ハイアットリージェンシー東京

・ 組織委員

名誉委員長 遠藤 實 (埼玉医科大学相談役)

委員長 柴崎 正勝 (微生物化学研究所所長)

副委員長 飯野 正光 (東京大学教授)

長田 裕之 (理化学研究所領域長)

委員 金井 求 (東京大学教授)

袖岡 幹子 (理化学研究所主任研究員)

西田 栄介 (京都大学教授)

萩原 正敏 (京都大学教授)

・ 講演者 32名 (国内21名、海外11名)

・ 参加者 約350名

( 5 ) 刊行物の発行

(イ) 平成21年度の研究助成金および同奨励金受領者等よりweb入稿された研究経過報告書を取りまとめ、「上原記念生命科学財団研究報告集Vol. 25 2011」を刊行した。

(ロ) 当財団の年報平成22年度「上原記念生命科学財団一年のあゆみ」を作成した。

(ハ) 平成23年度上原賞受賞者講演録を作成し、贈呈式出席者に配布した。

( 6 ) その他

海外で開催される国際研究集会に対する助成に関しては、所定の審査手続きを経て、「第11回日米シンポジウム：ドラッグデリバリーシステム」、「筋興奮収縮連関についてのゴードン研究会議」に各1万米ドルの助成(寄付)を行った。

## 助 成 金 の 内 訳

＜ 贈 呈 決 定 額 ＞

(金額単位：千円)

	助成金の名称	助成の対象者	1件当たりの助成金額	応募件数	助成件数	総助成額
定款第5条第1号 研究助成	第8回特定研究助成金	「革新的医療を創生する医学研究」を行う研究者	(A) 15,000千円 (B) 9,000	106	5 15	} 210,000千円 [ 本年度 ] 70,000
	研究助成金	単独・共同研究等いずれでも可、年令不問	5,000	336	70	
	研究推進特別奨励金	平成21年4月以降に独立した研究室又はチームを立ち上げた教授(昭和41年4月1日以降出生の者)	4,000	18	10	40,000
	研究奨励金	昭和49年4月1日以降出生の者、但し6年制学部出身者は昭和47年4月1日以降出生の者	2,000	263	89	178,000
同条第3号 派遣及び 招聘の助成	海外留学助成金 リサーチフェローシップ	年令基準等研究奨励金と同じ	4,000以内	298	66	209,900
	ポストドクトラル フェローシップ	昭和53年4月1日以降出生の者で博士号取得直後の無所得者	同上	103	34	125,200
	来日研究生助成金	わが国の大学院博士課程に新たに入学するために来日する研究者	奨学金月額 150	4	4	14,400 (支払は一部来期以降)
同条第4号 シンポジウムの助成	シンポジウム 開催助成金	わが国で開催される国際研究集会	1,000以内	35	26	26,000

## 褒 賞 の 内 訳

	褒賞の名称	褒賞の対象	1件当たりの褒賞	被推薦件数	褒賞件数	副賞の総額
定款第5条第2号 研究業績褒賞	上原賞	顕著な功績をあげ活躍中の研究者	正賞 金牌 副賞 20,000千円	16	2	40,000千円